

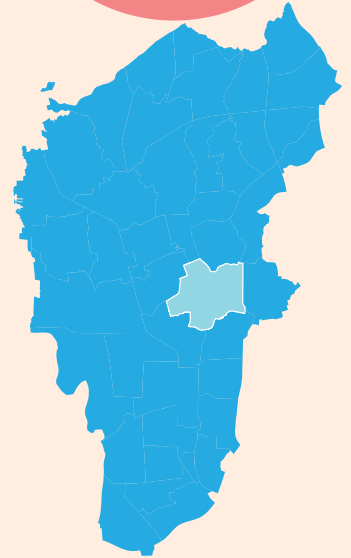
マチカネくんと歩く

まちある記

第32回

雨乞いの歴史が残るまち
南桜塚から長興寺南へ

緑地小学校区



校区の中央を天竺川が流れ、東側には服部緑地が広がっています。旧長興寺村は鎌倉時代から田畑の広がる集落があり、雨乞いの歴史も。昭和43年(1968)からの区画整備により住宅街へとその姿を変えてきました。

地域のつながりがある
まちに出かけよう

◎競輪場があった!?

服部緑地内にある陸上競技場。実は昔、競輪場でした。昭和25年(1950)から昭和30年まで競輪が開催され、昭和33年に陸上競技場となりました。今も昔も多くの人が集まる場所となっています。

昭和26年ごろの競輪場



緑の心で
気持ちよく
交流しよう



笑顔はじける

5 長興寺南公園(長興寺南4丁目)

大きな滑り台、広い砂場があるこの公園は、人が自然と集まる公園。地域子育て支援センターによる「公園であそぼう」も開催され、絵本の読み聞かせのほか、保育士に育児相談をしたり、保護者同士で情報交換を

したりと地域の子育ての拠点にもなっています。



保育士と手作りのたこを揚げようとグラウンドを走り回りました

わっしょい！
わっしょい！

境内の墓地には市指定文化財の宝篋印塔(ほうきょういんとう)の基礎があります



2 住吉神社
(長興寺北2丁目)

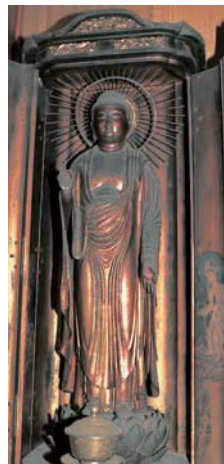
永正11年(1514)に足利將軍家から雨乞いの依頼を請けたと伝わる神社。毎年10月には子どもみこしがこの神社から出発し、200人以上の子どもたちが威勢のいい掛け声と共にまちを巡行します。



地域のお話が
児童に人気

3 念佛寺(長興寺北2丁目)

平安時代後期に制作され、頭部と両足部分は江戸時代以降に修復された阿弥陀如来像のある同寺。現在の住職に受け継がれてからは、校区探検でやって来た緑地小学校の3年生に地域の話が行われるなど身近な存在に。



雨乞いとゆかりのある池

1 皿池公園(南桜塚4丁目)

明治末期まで住吉神社で行われていた雨乞い儀式の前に祈禱者が身を清めていたのが皿池。現在は埋め立てられて公園となりましたが、当時の25分の1の大きさの人工池と石碑がいしえを伝えています。



今では、寒さに負けない子どもたちの大好きな場所



夕日丘
三丁目

南桜塚 1

2
長興寺北

3

長興寺公園

5
長興寺南

4
長興寺会館

城山町

緑地小学校

◎街道の分岐点

長興寺南1丁目にある道標。西面に刻まれた「左 池田道」は能勢街道、南面の「右 みのを勝尾寺山こへ道」は旧箕面街道のことを表しています。箕面の山を目印に勝尾寺へ参拝する人々たちを案内していたようです。



◎緑地の昔ばなし

地域に伝わる有名な昔話「一夜堤」^{いちやつみ}「なべかつぎ雨乞い」「おばあちゃん」。子どもたちに知ってもらうため平成16年(2004)に緑地小学校と地域の人たちが協力して



同校の藤本校長(右)と滝田教頭(左)

絵本を作りました。イラストも地域の方が描いたもの。地域の歴史と人びとのぬくもりの詰まった絵本は、現在も地域学習の授業で大切に語り継がれています。

ゆっくり、くだろう

4 長興寺南歩第一号線
(長興寺南3丁目)

長興寺会館と市立文書館の南にある坂道。交通量の多い道と合流しており、自転車で通る人の安全を守るために蛇行させたそうです。地域の人たちからは「くねくね道」とも呼ばれ、親しまれています。



4月号は、北緑丘小学校区をご紹介します。お楽しみに。